

千葉市女性のためのつながりサポート事業【千葉市】

個別事業費	14,029 千円
交付金額	10,521 千円

地域の実情と課題

男女共同参画センターでの女性相談の相談者の年齢構成は、多くが30代～60代であり、10代、20代の方の相談に十分にに応じられていない。また、教育委員会や障害の分野においてターゲットを絞ったSNS相談を実施しているものの、対象者以外で困っている方や相談窓口までたどりつけない相談者に対しては、NPO等の民間団体の知見を活用し、アウトリーチ型の訪問支援等の相談者に寄り添ったきめ細やかな支援を実施する必要がある。

事業の特徴

NPO等の知見や能力を活用して、様々な課題・困難を抱えた女性に積極的に赴き、相談に応じるアウトリーチ型支援等、行政では対応が難しいきめ細かい支援を実施している。

また、相談対応する専門家を女性に限定した相談会を開催し、相談しやすい環境づくりを行った。

事業の効果

経済的・精神的な不安を抱える女性に対し、NPO等への委託により、困難を抱える女性に寄り添った支援が実施できた。SNSの相談件数は、目標値以上となった。

また、女性専門家による相談は、女性専門家だから相談しやすいなど好評であった。

【実績】

- ・SNS相談の相談人数 延べ971人
- ・アウトリーチした人数 延べ190人
- ・女性専門家による相談会開催回数 8回

目的・目標

困難や不安を抱えている女性に対し、居場所の提供や寄り添った相談・支援ができるよう事業を実施する。また、NPO等の知見や能力を活用して、アウトリーチ型支援等を実施する。さらに、女性専門家による相談会を開催する。

【事業目標】

SNS相談の相談人数（目標）500人（実績）延べ971人
アウトリーチした人数（目標）100人（実績）延べ190人

連携団体

NPO等の民間団体が実施する同行支援の中で、必要に応じて、ハローワーク等の関係機関へ同行し、寄り添った支援を実施した。また、福祉部門と連携し、生活自立・仕事相談センターへつなぐ他、男女共同参画センターにおいても当該事業の周知をチャットボットを活用して行い、連携を図った。

今後の課題

- ・相談者の住所区が、委託事業者の住所区に偏っており、全市的に広がっていない。
- ・寄せられた相談に適切に対応できるよう、外部の関係団体と連携を強化する必要がある。
- ・福祉部門等の庁内連携について、検討する必要がある。

事業の概要

